

インクルーシブ教育 実践発表会

異常な暑さに加えて、地震、台風、水害など自然災害に翻弄された夏だったかと思います。新学期の準備はできているでしょうか。9月は、実践発表会です。今回は、以下の2つのテーマで実践発表をします。お誘いあわせの上ご参加下さい。

高校の通級が有効に機能するための 要因の検討 —成功事例と失敗事例を通して—

高校での通級の運用が全国で活性化している中、自校型と巡回型それぞれの効果と困難が明らかになってきています。

アセスメント、IEP、自立活動のカリキュラム立案や運用など、宮城県での実践例を通して、システム、生徒との関係など、うまくいった例とうまくいかなかった例を検討します

発表者:村上 真由美 氏 他
宮城県の公立高校において、UDL(学びのユニバーサルデザイン)の考え方を取り入れた巡回による通級指導を担当。複数の高校を訪問しながら、一人ひとりの子どもの実態を丁寧に見立て、その理解に基づいた特別支援教育を実践。

中学生アンガーマネージメントに おける箱庭実践 —大切なものを分かち合う経験—

アンガーマネージメントのプログラムの一環として、グループでの箱庭の実践報告をします。箱庭は、心像が表現されるため、「ことばになりにくい心の風景」が見える形になりやすい自己理解、自己表現、他者理解、相互理解に活用しています。

2事例を紹介し、思春期の揺れ動く心に向き合うプロセスや自分と他者との共通点を見つけて自分を守るための「結界」が無くなる場面で何が生じているのかを検討します。

発表者:青木 佑太郎 氏
教育心理相談室「ひまつも」を運営。様々な生きづらさを抱えた子どもと向き合いながら、心理教育実践を行う。個別支援に加え、多様な心理教育的アプローチを取り入れた小集団支援も行う。子どもの実態に応じた理論的・実践的な支援を展開。

【日時】 2026年9月13日(日)9:00~12:00

【場所】 ZOOMによるオンライン研修

【参加費】 学会員：1000 円(早大生：無料、学外生：500 円)

一般参加：3000 円(早大生：1000 円、学外生：1500 円)

【申し込み方法】学会HP申込みフォーム・QRコードのいずれかから申し込み下さい。

URL:<https://forms.gle/XhYuovx54Bs79SuB9>

【締切】9月10日(木)

【お問合せ】dev-dis-office@list.waseda.jp (インクル学会事務局)

参加申込みと参加費振り込みは同時をお願いします。

